

国務院部門責任者会議（２）

田中 修

はじめに

10月8日、李克強総理は国務院部門責任者会議を開催し、今後の経済社会発展政策を手配した。このときの李克強総理の発言の一部が、中国政府網 2014年10月9日で追加的に報じられているので、経済関連部分の概要を紹介する¹。

1. 経済情勢

現在経済運営は総体として平穏であるが、困難を低評価してはならない。経済の下振れ圧力に対し、我々は安定の中で前進を求め、改革・イノベーションを行うことを堅持し、安定成長・改革促進・構造調整・民生優遇・リスク防止を統一的に企画し、最大限度市場の活力を発揮させ、経済の安定の中での前進を実現してきた。

世界には総じてある種の誤解があり、7.5%を「最低ライン」と思っている。しかし、私は早くから、いわゆる「7.5%前後」は多少高くても多少低くてもよいと言っている。カギは、雇用が増加するかどうか、所得が伸びるかどうかなのである。

現在、雇用情勢は総体として安定しており、雇用の伸びの統計データは予想を超え、都市・農村の個人所得は引き続き GDP 成長率よりも高く伸びている。これは我々が見て満足すべき伸びである²。

2. 景気の刺激

今年に入り、経済情勢は引き続き錯綜し複雑であるが、中央政府は冷静さを維持し、マクロ経済政策の安定性を維持した。わが国のマネーは緩和されても引き締められてもいないが、同時にいくらか微調整を採用してもいる。マクロ政策の安定性を維持したことは、市場の予想の安定に積極的な役割を果たした。

「政策を安定させる」ことは、不作為と同じではない。政府は引き続きマクロ・コントロールを刷新し、方向を定めたコントロール・構造的コントロールを強化すると同時に、改革の強力な推進を通じて経済成長に助力する。

刺激について言えば、我々はむしろ改革を用いて刺激し、更に多くの市場によるボーナスを配当したい。とりわけ、カギとなる分野・脆弱部分に狙いを定め、小型・零細企業、「三農」とサービス業の発展を支援する。

¹ 報道では、李克強総理はほかに雲南景谷で発生した M6.6 の地震について言及している。

² ゴチックは中国政府網が強調している部分である。

3. 発展

もし一定速度の発展を維持できなければ、雇用拡大と民生改善は物質的基礎がなくなってしまう。

我々が今日の総合国力を持つことができたことにより、相当多くの庶民が今日の好い暮らしを過ごせるのである。依拠するものは発展であり、発展に依拠して、道を前進する上での問題を解決する。「発展は第一の重要任務」を堅持し、生産力を不断に解放し発展させ、科学的発展を推進する。

4. 改革

中国経済は総量が大きいですが、1人当り GDP はまだ米国の 13%に及ばず、日本の 18%に及ばない。「中所得の罫」を乗り越え、高所得の発展段階に順調に入るためには、相当困難な辛い努力を払わなければならない。このカギとなる時期に、**改革を進展させることは、「水に逆らって舟を進めるようなものであり、進まなければ退いてしまう」**。

中国は正に「新しいタイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化」建設のカギとなる段階にあり、経済が長期に好い方向へと向かうファンダメンタルズに変化はなく、発展の強靱性・潜在力・挽回の余地は依然大きい。

我々の政策の政策手段の備蓄はなお十分であり、「山重なり水複（まじ）わり路無きかと疑う」³程度にははるかに及んでいない。今後は、「浮雲が観望を遮るのを畏れず」⁴でなければならず、経済の中高速成長を引き続き維持し、発展を実現し、ミドル・ハイエンドに向けて邁進しなければならない。

5. 規制緩和

現在、行政の簡素化・権限の開放は重大な進展をみているが、「途中の遮蔽物」「最後の 1 キロ」⁵等の現象がなお存在する。

我々の一部の一部の政府部門で発生している腐敗案件・犯罪事案は、基本的に審査・許認可と関係がある。丸印をつければすぐ金を払うというのが、あたかも「潜在ルール」となっているのだ！

上海自由貿易試験区を視察したとき、ある企業責任者が私に苦情を訴えた。海外で M&A・競争入札を行った場合、契約に「もし政府の審査・許認可が通らなければ、契約は自動的に取り消される」という一文を加えなければならないというのである。これは、競争が開始されていないに等しく、我々はスタートラインで敗れているのだ。

実際のところ、わが国の生産能力過剰のいくつかの業種で、審査・許認可を受けていな

³ 宋代の詩人陸游の「山西の村に遊ぶ」からの引用。「山水が険しくもう行き止まりかと思う」という意。詩では、この先に小さな村を発見する。

⁴ 北宋の王安石の「飛来峰に登る」からの引用。詩では、「自分は最高峰に立っているのだから、浮雲が視界を遮ることなど気にしない」という意。

⁵ 実施プロセスの途中・最終段階で障害があり、うまく実施されないこと。

いものがあるだろうか？私は、一概に審査・許認可制度を否定しているのではないが、一部の純ビジネス・純経済的事項にまで審査・許認可を持ち込めば、容易にレントシーキング・腐敗を生み出すことになるのだ！

今後行政の簡素化・権限の開放を引き続き推進し、今年末にさらにいくらかの行政審査・許認可事項を取消・下方委譲しなければならない。同時に、進行中・事後の監督管理を強化しなければならない。「(政府は)法が授権しなければ行ってはならず、(民間は)法が禁止しないものを全て行ってよく、(政府は)法定の職責を行わなければならない」という市場経済・法制経済の準則を牢固に確立し、権限のリスト・ネガティブリスト・責任リストを全社会に公表し、透明な政府を確実に作り上げなければならない。

6. 怠惰も腐敗

勤勉であっても廉潔でなければ、公正さの面で政治は失われ、廉潔であっても勤勉でなければ、怠惰によって政治は失われる。勤勉と廉潔は1枚のコインの両面である。廉潔でなければ腐敗となり、勤勉でなくても腐敗に転ずる。

さらに好い政府の政策決定・手配を行っても、誰も取り組まなければ空文となる。今年6・7月、国務院は8つの監査グループを派遣し、政策の実施状況について監査を進め、かつ監査の長期有効なメカニズムを確立した。監査によって発見された問題については、リスト化し、整理・改善期限を明確にし、整理・改善責任制を実施し、決して「表面だけの取り繕い」を許さない。

何もせず無駄飯を食うことは、そもそも腐敗であり、不作為の「怠惰な政治」も腐敗だ！その日暮らし、不作為、行き当たりばったりの行為に対しては、厳格に責任を問い、今年の経済社会目標の期限通りの達成を確保しなければならない。

(10月14日記)